



Cisco Tetration M5 クラスタ ハードウェア導入ガイド

初版：2019年1月9日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスココンタクトセンター
0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com go trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



第 1 章

概要

- [設置の概要 \(1 ページ\)](#)

設置の概要

Cisco Tetration M5 クラスタは、5000 を超えるサーバをもつデータセンターに対して 39 ラック装置 (RU) の大規模なフォームファクタプラットフォーム (C1-Tetration) か、5000 サーバーよりも少ないデータセンターの 8-RU 小規模なフォームファクタプラットフォーム (C1-Tetration-M) のいずれかとして展開します。さらに、大規模なフォームファクタプラットフォームは、要件に応じて 1 または 2 つのいずれかのラックで展開できます。これらの展開は、次のように設定します。

- 1 つのラックにある大規模なフォームファクタ 39 RU Cisco Tetration プラットフォーム (C1 Tetration シングルラック)

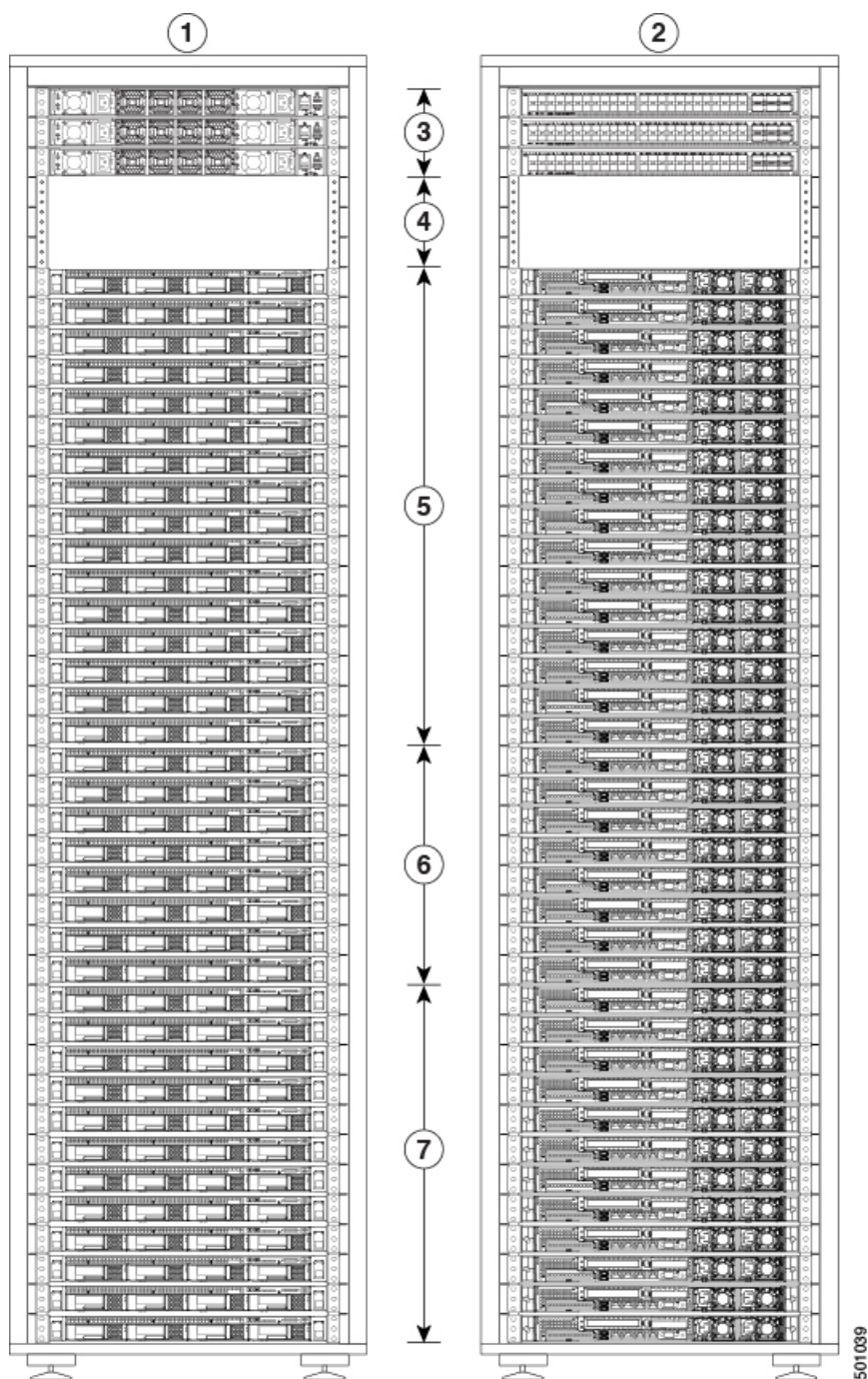


表 1: C1-Tetration シングルラック

引き出し線	説明
1	コールドアイルのビュー
2	ホットアイルのビュー

引き出し線	説明
3	1 個のスパイン (RU 42) と 2 個のリーフ スイッチ (RU 40 および 41)
4	ラック単位 (Ru 37 に 39) を開く
5	16 台のコンピューティング サーバ (RU 21 ~ 36)
6	8 台のキャッシュ サーバ (RU 13 ~ 20)
7	12 個のベース サーバ (RU 1 ~ 12)

- 2つのラックにある大規模なフォームファクタ Cisco Tetration プラットフォーム (C1 Tetration デュアルラック)

- ラック 1

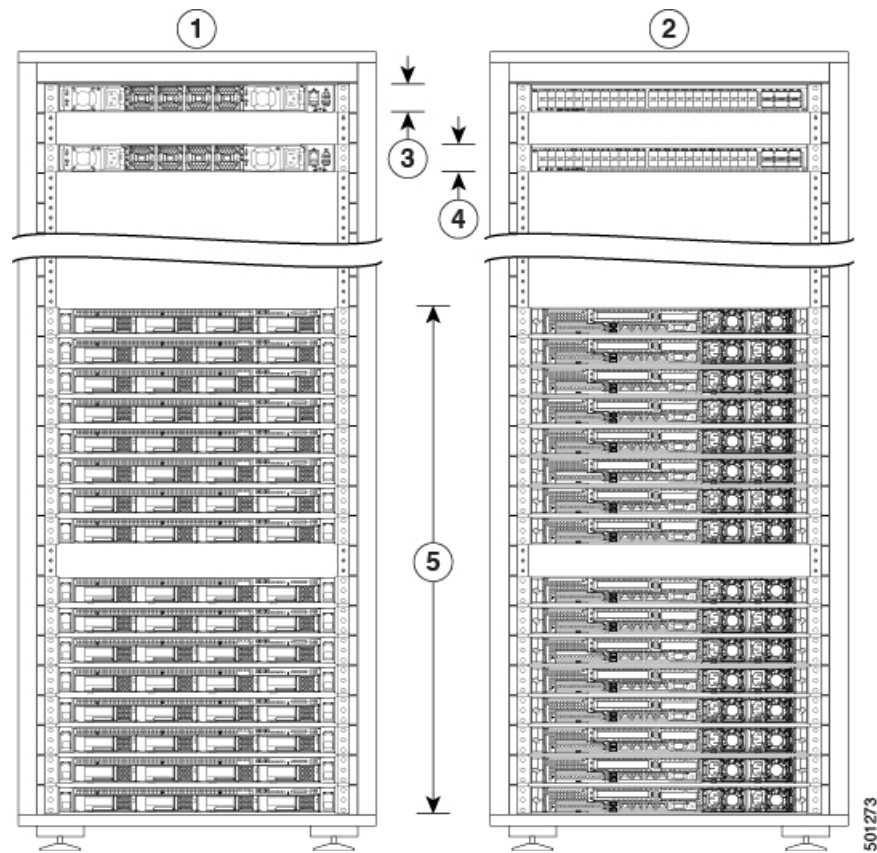


表 2: C1-Tetration デュアルラック、ラック1

引き出し線	説明
1	コールドアイルのビュー
2	ホットアイルのビュー

引き出し線	説明
3	1 個のスパイン スイッチ (RU 42)
4	1 個のリーフ スイッチ (RU 40)
5	16 台のコンピューティング サーバ (RU 1 ~ 4、6 ~ 9)

- ラック 2

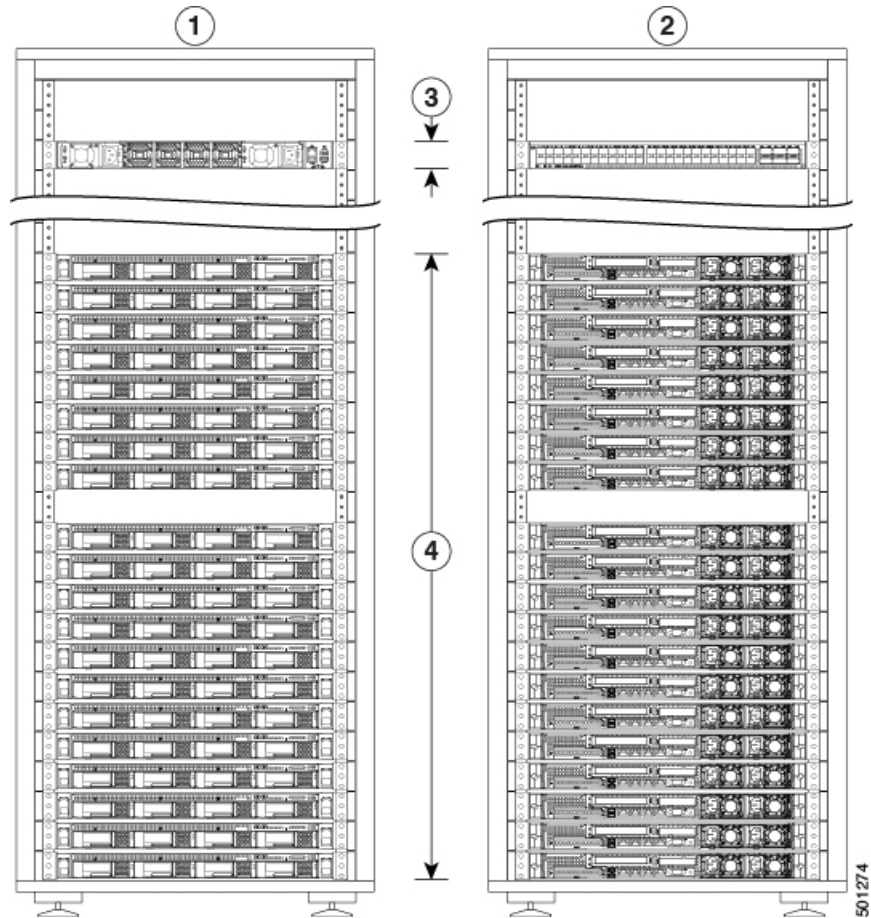


表 3: C1-Tetration デュアルラック、ラック 2

引き出し線	説明
1	コールドアイルのビュー
2	ホットアイルのビュー
3	2 個のリーフ スイッチ (RU 40)
4	8 個のキャッシュ サーバ (RU 14 ~ 21) と 12 個のベース サーバ (RU 1 ~ 12)

- 1つのラックに小規模フォームファクタ 8-RU Cisco Tetration プラットフォーム (C1-Tetration-M)

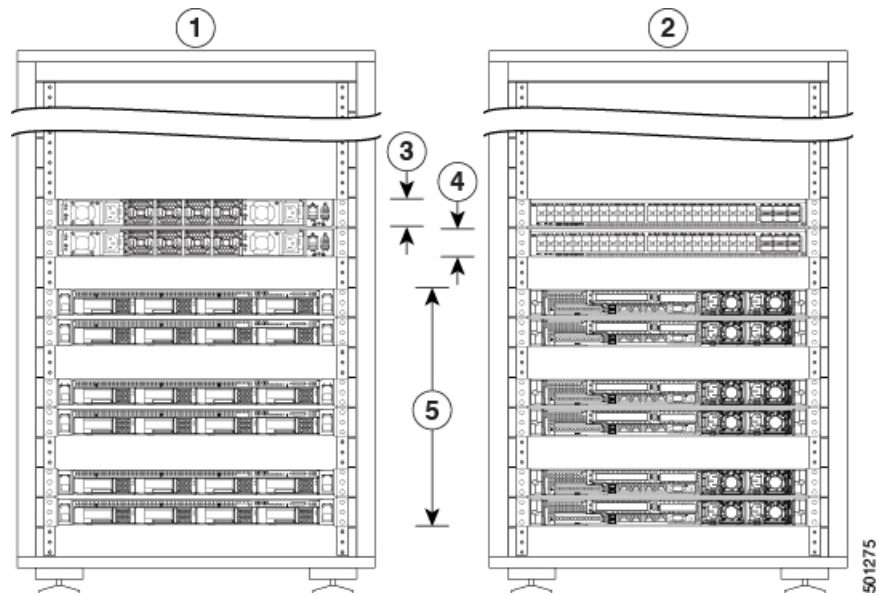


表 4: C1-Tetration M

引き出し線	説明
1	コールドアイルのビュー
2	ホットアイルのビュー
3	リーフスイッチ (RU 12)
4	リーフスイッチ (RU 11)
5	6個のユニバーサルサーバ (RU 2、3、5、6、8、および9)

Cisco UCS C220 M5 サーバ (SFF ドライブ) の前面パネルの機能

次の図に、小型フォームファクタのドライブバージョンのサーバの前面パネルの機構を示します。

詳細については、Cisco UCS C220 M5 サーバのマニュアルを参照してください。

図 1: Cisco UCS C220 M5 サーバ (SFF ドライブ) の前面パネル

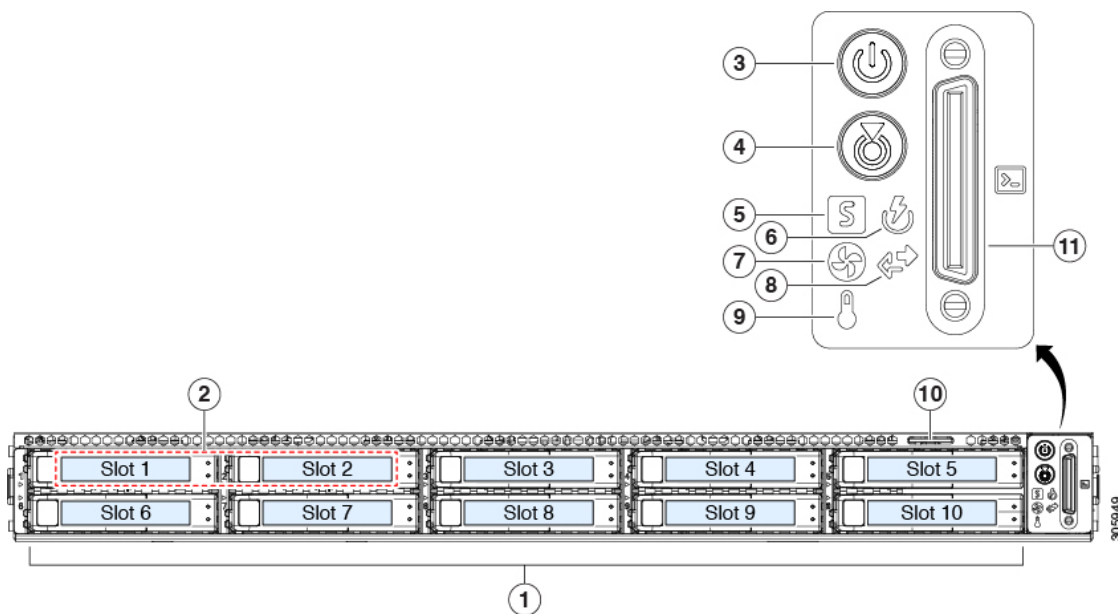


表 5: Cisco UCS C220 M5 サーバ (SFF ドライブ) の前面パネル

引き出し線	説明
1	ドライブ ベイ 1 ~ 10 は SAS/SATA ハードディスク ドライブ (HDD) およびソリッドステートドライブ (SSD) をサポート。
2	<ul style="list-style-type: none"> UCSC-220-M5SX : ドライブ ベイ 1 および 2 で NVMe PCIe SSD をサポート。 UCSC-220-M5SN : ドライブ ベイ 1 ~ 10 で NVMe PCIe SSD のみをサポート。
3	電源ボタン/電源ステータス LED
4	ユニット識別ボタン/LED
5	システム ステータス LED
6	電源装置ステータス LED
7	ファン ステータス LED
8	ネットワーク リンク アクティビティ LED
9	温度ステータス LED
10	引き抜きアセット タグ

引き出し線	説明
11	KVM コネクタ (1 個の DB-15 VGA、1 個の DB-9 シリアル、および 2 個の USB コネクタを装備した KVM ケーブルで使用)

Cisco UCS C220 M5 サーバの背面パネルの機能

背面パネルの機能は、サーバのすべてのバージョンで同一です。

詳細については、Cisco UCS C220 M5 サーバのマニュアルを参照してください。

図 2: Cisco UCS C220 M5 サーバの背面パネル

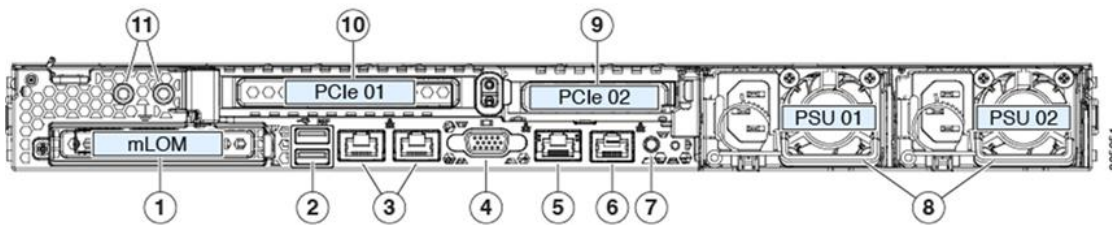


表 6: Cisco UCS C220 M5 サーバの背面パネル

引き出し線	説明
1	モジュラ LAN-on-motherboard (mLOM) カード ベイ (x16 PCIe レーン)
2	USB 3.0 ポート (2 個)
3	デュアル 1 Gb/10 Gb イーサネット ポート (LAN1 と LAN2) デュアル LAN ポートは、リンク パートナーの機能に応じて 1 Gbps および 10 Gbps をサポートできます。
4	VGA ビデオ ポート (DB-15 コネクタ)
5	1 Gb イーサネット専用管理ポート
6	シリアル ポート (RJ-45 コネクタ)
7	背面ユニット識別ボタン/LED
8	電源装置 (2、1+1 として冗長)
9	PCIe ライザー 2/スロット 2 (x16 レーン) フロントロード NVMe SSD (x8 レーン) 用の PCIe ケーブル コネクタが付属

引き出し線	説明
10	PCIe ライザー 1/スロット 1 (x16 レーン)
11	デュアルホール アース ラグ用ネジ穴



第 2 章

設置場所の準備

- 温度要件 (9 ページ)
- 湿度の要件 (9 ページ)
- 高度要件 (10 ページ)
- 埃および微粒子の要件 (10 ページ)
- 電磁干渉および無線周波数干渉の最小化 (10 ページ)
- 衝撃および振動の要件 (11 ページ)
- アース要件 (11 ページ)
- 電力要件 (11 ページ)
- エアフロー要件 (12 ページ)
- スペースの要件 (12 ページ)

温度要件

Cisco Tetration クラスタ スイッチとサーバでは、動作温度 0 ~ 35°C (1~95°F) で、海拔高度 305 m (1000 フィート) ごとに 1°C の最大温度を低減させる必要があります。デバイスが動作していない場合、温度は -40 ~ 65°C (-40 ~ 149°F) である必要があります。

湿度の要件

湿度が高いと、スイッチとサーバーに湿気が入ることがあります。湿気が原因で、内部コンポーネントの腐食、および電気抵抗、熱伝導性、物理的強度、サイズなどの特性の劣化が発生することがあります。スイッチとサーバーは 10~90% の相対湿度で 1 時間あたり 10% の湿度変化で動作するように定格が定められています。非動作時条件の場合、デバイスは相対湿度 5 ~ 93% に耐えることができます。

温暖期の空調と寒冷期の暖房により室温が四季を通して管理されている建物内では、デバイスにとって、通常許容できるレベルの湿度が維持されています。ただし、デバイスを極端に湿度の高い場所に設置する場合は、除湿装置を使用して、湿度を許容範囲内に維持してください。

高度要件

標高の高い（気圧が低い）場所でラックデバイスを動作させると、対流型の強制空冷方式の効率が低下し、その結果、アーク現象およびコロナ放電による電気障害が発生することがあります。また、このような状況では、内部圧力がかかっている密閉コンポーネント、たとえば、電解コンデンサが損傷したり、その効率が低下したりする場合があります。これらのデバイスは 10,000 フィート (0 に 3,050 m)、0 から高度で動作するように評価し、0 に 40,000 フィート (12,200 m) の高度に保存されていることができます。

埃および微粒子の要件

シャーシ内のさまざまな開口部を通じて空気を吸気および排気することによって、ファンは電源モジュール、スイッチ、サーバを冷却します。しかし、ファンはほこりやその他の微粒子を吸い込み、スイッチに混入物質を蓄積させ、内部シャーシの温度が上昇する原因にもなります。清潔な作業環境を保つことで、ほこりやその他の微粒子による悪影響を大幅に減らすことができます。これらの異物は絶縁体となり、スイッチとサーバの機械的なコンポーネントの正常な動作を妨げます。

定期的なクリーニングに加えて、ラックスイッチとサーバの汚れを防止するために、次の予防策に従ってください。

- ラックの近くでの喫煙を禁止する。
- ラックの近くでの飲食を禁止する。

電磁干渉および無線周波数干渉の最小化

デバイスからの電磁干渉 (EMI) および無線周波数干渉 (RFI) は、Cisco Tetration クラスタラックの周辺で稼働している他のデバイス（ラジオおよびテレビ受信機）に悪影響を及ぼす可能性があります。また、ラックのデバイスから出る無線周波数が、コードレス電話や低出力電話の通信を妨げる場合があります。逆に、高出力の電話からの RFI によって、デバイスモニタに意味不明の文字が表示されることがあります。

RFI は、10 kHz を超える周波数を発生させる任意の EMI として定義されます。このタイプの干渉は、電源ケーブルおよび電源を通じて、または送信された電波のように空気中を通じてスイッチから他の装置に伝わる場合があります。米国連邦通信委員会 (FCC) は、コンピュータ装置が放出する EMI および RFI の量を規制する特定の規定を公表しています。各スイッチは、FCC の規格を満たしています。

電磁界内で長距離にわたって配線を行う場合、磁界と配線上の信号の間で干渉が発生することがあり、そのために次のような影響があります。

- 配線を適切に行わないと、プラント配線から無線干渉が発生することがあります。

- 特に雷または無線トランスミッタによって生じる強力な EMI は、シャーシ内の信号ドライバやレシーバーを破損したり、電圧サージが回線を介して装置内に伝導するなど、電気的に危険な状況をもたらす原因になります。



(注) 強力な EMI を予測して防止するには、RFI の専門家に相談することが必要になる場合があります。

アース導体を適切に配置してツイストペアケーブルを使用すれば、配線から無線干渉が発生することはほとんどありません。推奨距離を超える場合は、データ信号ごとにアース導体を施した高品質のツイストペアケーブルを使用してください。



注意 配線が推奨距離を超える場合、または配線が建物間にまたがる場合は、近辺で発生する落雷の影響に十分に注意してください。雷などの高エネルギー現象で発生する電磁波パルスにより、電子装置を破壊するほどのエネルギーが非シールド導体に発生することがあります。過去にこのような問題が発生した場合は、電力サージ抑制やシールドの専門家に相談してください。

衝撃および振動の要件

Cisco Tetration クラスタ デバイスのデバイスは、動作範囲、取り扱い、耐震規格に対して衝撃および振動の試験が行われています。

アース要件

Cisco Tetration クラスタ内のデバイスは、電源によって提供される電圧の変動に敏感です。過電圧、低電圧、および過渡電圧（スパイク）によって、データがメモリから消去されたり、コンポーネントの障害が発生するおそれがあります。これらのタイプの問題に対して保護するために、デバイスにアース接続があることを確認してください。ラックを設備のアースに接続する必要があります。

シャーシの接地点は M5 ネジに合う大きさです。独自のネジ、アースラグとアース線を提供する必要があります。アースラグは、M5 ネジに合ったデュアルホールラグである必要があります。ユーザが提供するアースケーブルは 14 AWG (2 mm)、最低 60°C のワイヤか、現地の規定で許可されるものでなければなりません。

電力要件

Cisco Tetration クラスタは、次の電力量をオペレーションに提供する電源をプロビジョニングする必要があります。

- 39-RU 大規模フォーム ファクタ プラットフォーム、シングル ラック : 22,500 W
- 39-RU 大規模フォーム ファクタ プラットフォーム、デュアルラック: ラックごとに 11,500 W
- 8-RU 小規模フォーム ファクタ プラットフォーム - 5,500 W

必要な $n+n$ 電源の冗長性については、それぞれがその電力量を供給する各 2 つの AC 電源が必要です。

ラックの各シャーシには、2 つの電源装置、オペレーション用に 1 つと冗長性のためにもう 1 つがあります。各電源がラックの別の電源ストリップに接続され、各電源ストリップが異なる AC 電源に接続されています。1 つの電源に障害が発生すると、もう 1 つの電源がラックの各スイッチまたはサーバに電力を提供します。

エアフロー要件

Cisco Tetration クラスタでは、コールドアイル内の 3 つのスイッチで各ラックに電源とファンを配置する必要があります。このように配置するとき、ラックのすべてのデバイスをコールドアイルから冷風を取り込み、ホットアイルに熱風を排出します。

スペースの要件

次の表では、39 RU ラージフォーム ファクタ (シングルまたはデュアル ラック) または 8 RU スモールフォーム ファクタ Cisco Tetration クラスタのインストールに必要な大きさのスペースを示しています。インストールアイルはラックを挿入するために、23.5 インチ (59.69 cm) を超える幅が必要です。さらに、メンテナンスを実施するために前面と背面にアクセスするための十分な空き領域が必須です。

表 7: スペースの要件

インストール タイプ	アイル最小幅 ¹	ラックのインストールの最小スペース
C1-Tetration (シングル ラック) のインストール	23.5 インチ (59.69 cm)	幅 23.5 インチ (59.69 cm) 奥行 49.8 インチ (126.492 cm)
C1-Tetration (デュアル ラック)	23.5 インチ (59.69 cm)	幅 47 インチ (119.38 cm) 奥行 49.8 インチ (126.492 cm)
C1-Tetration M	23.5 インチ (59.69 cm)	幅 23.5 インチ (59.69 cm) 奥行 49.8 インチ (126.492 cm)

¹、インストールのためのアイルとラックの前面扉が開くためのアイルには、少なくとも 23.5 インチ (59.69 cm) の幅が必要です。メンテナンスを実行するユーザの他の通路オー

プル二重キャビネット ドアが少なくとも 11.75 インチ (29.845 cm) を完全に開くドアが少なくとも 23.5 インチ (59.69 cm) の全体をする必要がありますがが必要です。

ラックは、スイッチのファン (最大のドアをもつラックの側面) がコールドアイルに向けて配置され、スイッチポート (二重ドアをラックの側) がホットアイルに向けて配置されています。



第 3 章

電源の投入とデバイスの接続

- [Cisco Tetration クラスタ デバイスのアース接続を行う](#) (15 ページ)
- [Cisco Tetration クラスタ デバイスの電源を投入](#) (15 ページ)
- [Cisco Tetration クラスタのルータに接続への接続](#) (16 ページ)

Cisco Tetration クラスタ デバイスのアース接続を行う

Cisco Tetration クラスタのデバイスはラックに金属間の接続があるため、ラック（またはデュアルラックのインストールの場合は複数のラック）をデータセンターの地表に接地するとすぐに、ラックのデバイスが接地されます。ラックを接地するためには、ラックホイールをアース地表に接続します。

Cisco Tetration クラスタ デバイスの電源を投入

スイッチに電源投入するには、2つの AC 電源へのラックに付いている2つの電源ストリップを接続する必要があります。



(注) この装置をNFPA 70 National Electrical Code (NEC) に準拠するサービス機器で、サージ保護デバイス (SPD) に付属の AC 主電源に接続します。

設置手順を読んでから、システムを使用、取り付け、または電源に接続してください。


このユニットを電源回路に接続するときは、配線を過負荷にしないでください。

始める前に

- ラックはデータセンターに設置され、コールドアイル内に配置された吸気口を所定の位置に固定しました。
- ラックにデータセンター アース接地する必要があります。

- クラスターは、2つの顧客が指定するルータ (別のリーフ スイッチに接続されたそれぞれのルータ) に接続する必要があります。
- 電源要件を満たす2つの電源が各ラック電源ストリップケーブルの近くにある必要があります。

ステップ1 AC 電源に1つの電源ストリップの電源ケーブルを差し込み、もう1つの AC 電源に2つ目の電源ストリップの電源ケーブルを差し込みます。

ステップ2  LED が緑に点灯していることを確認するために、ラックのデバイスのそれぞれに設置された各電源を確認します。

- いずれのLEDも点灯していない場合は、電源がオンになっていることとラック電源ストリップのオン/オフスイッチがオンになっていることを確認します。
- これらのLEDの一部が点灯しているが、他が点灯していない場合は、その電源から電源ケーブルがラックの電源ストリップに完全に接続されていることを確認します。

次のタスク

ユーザ インターフェイスを設定する準備ができています。

Cisco Tetration クラスターのルータに接続への接続

Cisco Tetration クラスターは、2台のルータに接続する必要があります。

ステップ1 39-RU 大規模フォーム ファクタ デュアル ラック クラスターをインストールする場合は、各ラックで部分的に接続されたインターフェイスケーブルを接続します。これらのケーブルのそれぞれに対して、他のラックでラベルが付けられたポートに接続します。

ステップ2 10 ギガビットケーブルを使用して、39 RU 展開の場合はリーフ 1 スイッチのポート E1/39、8 RU 展開の場合はポート E1/47 にルータを接続します。リーフ 1 スイッチは、次の場所にあります。

- 39-RU 大規模フォーム ファクタ シングル ラック プラットフォーム - プラットフォーム ラックで RU 40
- 39-RU 大規模フォーム ファクタ デュアル ラック プラットフォーム - ラック 1 で RU 40
- 8-RU 小規模フォーム ファクタ プラットフォーム - プラットフォーム ラック で RU 12

ステップ3 10 ギガビットケーブルを使用して、39 RU 展開の場合はリーフ 2 スイッチのポート E1/39、8 RU 展開の場合はポート E1/47 にルータを接続します。リーフ 2 スイッチは、次の場所にあります。

- 39-RU 大規模フォーム ファクタ シングル ラック プラットフォーム - プラットフォーム ラックで RU 41

- 39-RU 大規模なフォーム ファクタ デュアル ラック プラットフォーム — ラック 2 の RU 41
 - 8 RU 小規模フォーム ファクタ プラットフォーム - プラットフォーム ラック で RU 11
-



第 4 章

ユーザ インターフェイスの設定

- ユーザ インターフェイスの設定 (19 ページ)

ユーザ インターフェイスの設定

GUIを設定するには、インターネットにアクセスするために、イーサネットポート付きのラップトップコンピューターなどのデバイスが必要です。Chrome ブラウザがデバイスにインストールされていることを確認します。Cisco Tetration クラスタの最上位のサーバにデバイスを接続するために、イーサネット ケーブルが必要です。

ステップ 1 インターネット デバイスに IP アドレス 2.2.2.1/30 (255.255.255.252) を設定します。

ステップ 2 Cisco Tetration クラスタの最上位のサーバの ETH1 ポートにインターネット デバイスのイーサネット ポートを接続するには、イーサネット ケーブルを使用します。

ステップ 3 インターネット デバイスで、Chrome ブラウザを開き <http://2.2.2.2:9000> に移動します。

(注) Chrome ブラウザは、このプロセスでテストした唯一のブラウザです。

Cisco Tetration セットアップ診断ページが開きます。

図 3: 8-RU Cisco Tetration クラスタの診断ページ

ID	Serial	Private1	Private2	Public1	Public2	HW Config	Base OS
1	W21215108QM	[118.168.leaf2] Ethernet1/1	[118.168.leaf1] Ethernet1/1	[118.168.leaf2] Ethernet1/19	[118.168.leaf1] Ethernet1/19	48 core, 100/G memory, 24850G, SSD	3.2.1.18.derevl
2	W21215108QW	[118.168.leaf2] Ethernet1/2	[118.168.leaf1] Ethernet1/2	[118.168.leaf2] Ethernet1/20	[118.168.leaf1] Ethernet1/20	48 core, 100/G memory, 24850G, SSD	3.2.1.18.derevl
3	W21215108P-Z	[118.168.leaf2] Ethernet1/3	[118.168.leaf1] Ethernet1/3	[118.168.leaf2] Ethernet1/21	[118.168.leaf1] Ethernet1/21	48 core, 100/G memory, 24850G, SSD	3.2.1.18.derevl
4	W21215108QJ	[118.168.leaf2] Ethernet1/4	[118.168.leaf1] Ethernet1/4	[118.168.leaf2] Ethernet1/22	[118.168.leaf1] Ethernet1/22	48 core, 100/G memory, 24850G, SSD	3.2.1.18.derevl
5	W21215108Q2	[118.168.leaf2] Ethernet1/5	[118.168.leaf1] Ethernet1/5	[118.168.leaf2] Ethernet1/23	[118.168.leaf1] Ethernet1/23	48 core, 100/G memory, 24850G, SSD	3.2.1.18.derevl
6	W21215108Q7	[118.168.leaf2] Ethernet1/6	[118.168.leaf1] Ethernet1/6	[118.168.leaf2] Ethernet1/24	[118.168.leaf1] Ethernet1/24	48 core, 100/G memory, 24850G, SSD	3.2.1.18.derevl

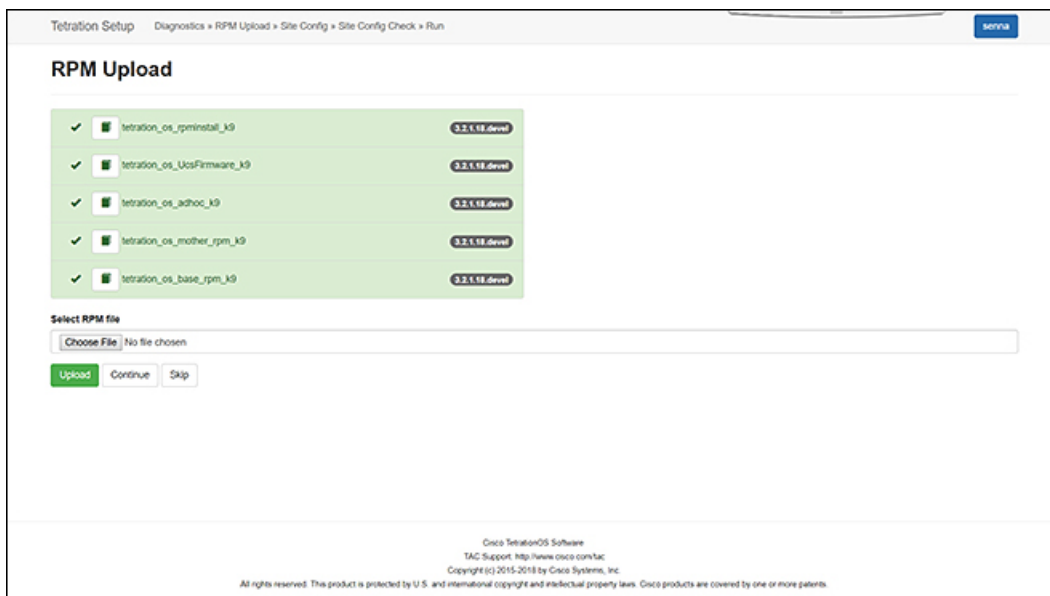
図 4: 39-RU Cisco Tetration クラスタの診断ページ

ID	Serial	Private1	Private2	Public1	Public2	HW Config	Base OS
1	W212147045H	ipmoult.leaf1 Ethernet1/1	ipmoult.leaf2 Ethernet1/1	ipmoult.leaf1 Ethernet1/141		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
2	W212147045J	ipmoult.leaf1 Ethernet1/2	ipmoult.leaf2 Ethernet1/2	ipmoult.leaf2 Ethernet1/141		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
3	W212147044A	ipmoult.leaf1 Ethernet1/3	ipmoult.leaf2 Ethernet1/3	ipmoult.leaf1 Ethernet1/142		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
4	W212147044Q	ipmoult.leaf1 Ethernet1/4	ipmoult.leaf2 Ethernet1/4	ipmoult.leaf2 Ethernet1/142		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
5	W212147043B	ipmoult.leaf1 Ethernet1/5	ipmoult.leaf2 Ethernet1/5	ipmoult.leaf1 Ethernet1/143		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
6	W212147046V	ipmoult.leaf1 Ethernet1/6	ipmoult.leaf2 Ethernet1/6	ipmoult.leaf2 Ethernet1/143		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
7	W21214804AU	ipmoult.leaf1 Ethernet1/7	ipmoult.leaf2 Ethernet1/7	ipmoult.leaf1 Ethernet1/144		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
8	W21214804AS	ipmoult.leaf1 Ethernet1/8	ipmoult.leaf2 Ethernet1/8	ipmoult.leaf2 Ethernet1/144		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
9	W21214807WJ	ipmoult.leaf1 Ethernet1/9	ipmoult.leaf2 Ethernet1/9	ipmoult.leaf1 Ethernet1/145		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
10	W21214807XJ	ipmoult.leaf1 Ethernet1/10	ipmoult.leaf2 Ethernet1/10	ipmoult.leaf2 Ethernet1/145		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
11	W21214804FS	ipmoult.leaf1 Ethernet1/11	ipmoult.leaf2 Ethernet1/11	ipmoult.leaf1 Ethernet1/146		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
12	W21214804AF	ipmoult.leaf1 Ethernet1/12	ipmoult.leaf2 Ethernet1/12	ipmoult.leaf2 Ethernet1/146		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
13	W2121470491	ipmoult.leaf1 Ethernet1/13	ipmoult.leaf2 Ethernet1/13	ipmoult.leaf1 Ethernet1/147		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
14	W21214807ZL	ipmoult.leaf1 Ethernet1/14	ipmoult.leaf2 Ethernet1/14	ipmoult.leaf2 Ethernet1/147		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
15	W212147043Z	ipmoult.leaf1 Ethernet1/15	ipmoult.leaf2 Ethernet1/15	ipmoult.leaf1 Ethernet1/148		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
16	W21214807ZU	ipmoult.leaf1 Ethernet1/16	ipmoult.leaf2 Ethernet1/16	ipmoult.leaf2 Ethernet1/148		28 core, 503G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
17	W21214715X5	ipmoult.leaf1 Ethernet1/17	ipmoult.leaf2 Ethernet1/17			28 core, 251G memory, 428FG, SSD	3.2.1.18.devel
18	W212147048E	ipmoult.leaf1 Ethernet1/18	ipmoult.leaf2 Ethernet1/18			28 core, 251G memory, 428FG, SSD	3.2.1.18.devel
19	W212147155F	ipmoult.leaf1 Ethernet1/19	ipmoult.leaf2 Ethernet1/19			28 core, 251G memory, 428FG, SSD	3.2.1.18.devel
20	W21214715X7	ipmoult.leaf1 Ethernet1/20	ipmoult.leaf2 Ethernet1/20			28 core, 251G memory, 428FG, SSD	3.2.1.18.devel
21	W21214715X1	ipmoult.leaf1 Ethernet1/21	ipmoult.leaf2 Ethernet1/21			28 core, 251G memory, 428FG, SSD	3.2.1.18.devel
22	W212147155Q	ipmoult.leaf1 Ethernet1/22	ipmoult.leaf2 Ethernet1/22			28 core, 251G memory, 428FG, SSD	3.2.1.18.devel
23	W212147044F	ipmoult.leaf1 Ethernet1/23	ipmoult.leaf2 Ethernet1/23			28 core, 251G memory, 428FG, SSD	3.2.1.18.devel
24	W21215003WV	ipmoult.leaf1 Ethernet1/24	ipmoult.leaf2 Ethernet1/24			28 core, 251G memory, 428FG, SSD	3.2.1.18.devel
25	W212147049L	ipmoult.leaf1 Ethernet1/25	ipmoult.leaf2 Ethernet1/25			28 core, 251G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
26	W212147048B	ipmoult.leaf1 Ethernet1/26	ipmoult.leaf2 Ethernet1/26			28 core, 251G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
27	W212147047K	ipmoult.leaf1 Ethernet1/27	ipmoult.leaf2 Ethernet1/27			28 core, 251G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
28	W212147044G	ipmoult.leaf1 Ethernet1/28	ipmoult.leaf2 Ethernet1/28			28 core, 251G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
29	W21214807WB	ipmoult.leaf1 Ethernet1/29	ipmoult.leaf2 Ethernet1/29			28 core, 251G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
30	W2121470489	ipmoult.leaf1 Ethernet1/30	ipmoult.leaf2 Ethernet1/30			28 core, 251G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
31	W21214807ZA	ipmoult.leaf1 Ethernet1/31	ipmoult.leaf2 Ethernet1/31			28 core, 251G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
32	W21214807WL	ipmoult.leaf1 Ethernet1/32	ipmoult.leaf2 Ethernet1/32			28 core, 251G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
33	W212147043Q	ipmoult.leaf1 Ethernet1/33	ipmoult.leaf2 Ethernet1/33	ipmoult.leaf1 Ethernet1/37		28 core, 251G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
34	W21214807H4	ipmoult.leaf1 Ethernet1/34	ipmoult.leaf2 Ethernet1/34	ipmoult.leaf2 Ethernet1/37		28 core, 251G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
35	W212147048C	ipmoult.leaf1 Ethernet1/35	ipmoult.leaf2 Ethernet1/35	ipmoult.leaf1 Ethernet1/38		28 core, 251G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel
36	W212147048P	ipmoult.leaf1 Ethernet1/36	ipmoult.leaf2 Ethernet1/36	ipmoult.leaf2 Ethernet1/38		28 core, 251G memory, 1601FG, HDX	3.2.1.18.devel

ステップ 4 診断ページにエラーがある場合は、この手順を継続する前に、クラスタデバイス間のケーブル接続に破損した接続がないかどうか、またはケーブルが間違っていて経路指定されていないかどうかをチェックします (すべてのケーブル配線を検証するためには、付録の配線表を使用してください)。完了したら、ステップ 2 に戻ります。

ステップ 5 [Continue] ボタンをクリックします。
RPM アップロード ページが開きます。

図 5: RPM アップロードページ



(注) サイト設定ページが代わりに開いた場合、次の URL を入力して、RPM アップロード ページを開きます。

`http://2.2.2.2:9000/upload`

ステップ 6 RPM ファイルを Cisco Tetration クラウドにアップロードします。

次の順序でファイルをアップロードする必要があります。

1. `tetration_os_rpminstall_k9`
2. `tetration_os_UcsFirmware_k9`
3. `tetration_os_adhoc_k9`
4. `tetration_os_mother_rpm_k9`
5. `tetration_os_base_rpm_k9`

RPM をアップロードするためには、以下のサブステップを実行します。

- a) [Choose File] をクリックします。
- b) RPM に移動して選択し、[Open] をクリックします。
- c) [Upload] をクリックします。

各 RPM をアップロードすると、ページの RPM のリストは更新されません。これは想定されている動作です。

`tetration_os_mother_rpm_k9-2.1.1.31-1`ファイルのアップロード後にエラーが表示された場合は、約 5 ~ 10 分待ってから、ページをリロードします。ページをリロードした後、アップロードされた RPM のリストが表示されるはずですが、エラーは `orchestrator` の再起動によるものであり、問題ではありません。

d) 各 RPM の次のステップを繰り返します。

RPM のアップロードが完了すると、[サイト設定 (Site Config)] ページが開きます。

Tetration Setup Diagnostics » RPM Upload » Site Config » Site Config Check » Run

Site Config

Complete this form to create or update the site config.

General

Email

L3

Network

Service

UI

Advanced

Site Name*

A unique name for this cluster. The name should be brief and contain only letters, numbers, underscore (_) and dash (-).

SSH Public Key*

```
ssh-rsa
AAAAB3NzaC1yc2EAAAADAQABAAQDFtEQxfcsi1J/W6+XpAkKO7q9e5nS6TBZ4o/jr4m
EJv2aKDkLfbqN0adhZ3VTQoCrzfr2Rpmsf2O3IVehJOHWnNMuSrqui+CzG2ErCb7wld+gjeH
```

This SSH key can be used to access the cluster.

[Next→](#)

[Continue](#)
[Back](#)
[Reset](#)

Cisco TetrationOS Software
 TAC Support: <http://www.cisco.com/tac>
 Copyright (c) 2015-2017 by Cisco Systems, Inc.
 All rights reserved. This product is protected by U.S. and international copyright and intellectual property laws. Cisco products are covered by one or more patents.

ステップ 7 [Site Config] ページの [General]、[Email]、[Network]、[Service]、および [UI] フォームを使用して、新しいサイトを次のように設定します。

• **[General]** フォーム

1. **[Site Name]** フィールドに、一意のクラスタ名を入力します。
2. **[SSH Public Key]** フィールドに、認証キーを貼り付けます。

(注) クラスタ SSH アクセスに使用できる独自の SSH キーペアを生成します。

ta_guest アクセスを使用してクラスタをトラブルシューティングまたは回復するために、SSH キーを安全で永続的な場所に保管しておくことを強く推奨します。

3. [Next] をクリックします。

• **[Email]** フォーム

1. 必要な電子メールアドレスを入力します。
2. [Next] をクリックします。

- **L3** フォーム

それぞれの要求されたアドレスを入力します。

- **[Network]** フォーム

1. **[Internal network IP address]** フィールドに、オーケストレータ展開出力からアドレスを貼り付けます。
2. **[External network IP address]** フィールドに、オーケストレータ展開出力からアドレスを貼り付けます。
3. **[External gateway IP address]** フィールドに、オーケストレータ展開出力からアドレスを貼り付けます。
4. **[DNS resolver IP address]** フィールドに、オーケストレータ展開出力からアドレスを貼り付けます。
5. **[DNS domain]** フィールドに、DNS ドメイン（たとえば、「`cisco.com`」）を入力します。
6. **[Next]** をクリックします。

- **[Service]** フォーム

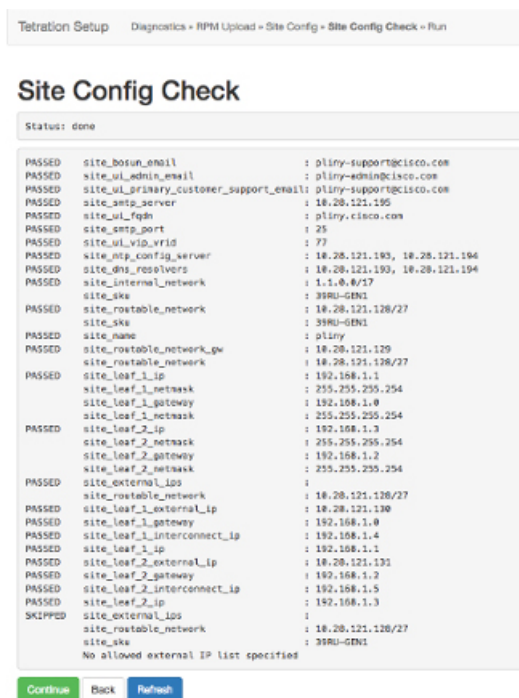
1. **[NTP Servers]** フィールドに、オーケストレータ展開出力から NTP サーバ名または IP アドレスのスペース区切りのリストを入力します。
2. **[SMTP Server]** フィールドに、Cisco Tetration が電子メールメッセージの送信に使用できる SMTP サーバの名前または IP アドレスを入力します（このサーバは Cisco Tetration からアクセス可能である必要があります）。
3. **[SMTP Port]** フィールドに、SMTP サーバのポート番号を入力します。AWS は、ポート 25 と 465 の使用を制限します。アカウントを正しく構成するか、またはポート 587 を使用する必要があります。
4. **[SMTP Username]** フィールドに、SMTP 認証用のユーザ名を入力します。
5. **[SMTP Password]** フィールドに、SMTP 認証用のパスワードを入力します。
6. (オプション)**[HTTP Proxy Server]** フィールドにインターネットの外部サービスにアクセスするために Cisco Tetration で使用される HTTP プロキシサーバの名前または IP アドレスを入力します。
7. (オプション) **[HTTP Proxy Port]** フィールドに、HTTP プロキシサーバのポート番号を入力します。
8. (オプション)**[HTTPs Proxy Server]** フィールドにインターネットの外部サービスにアクセスするために Cisco Tetration で使用される HTTPs プロキシサーバの名前または IP アドレスを入力します。
9. (オプション) **[HTTPs Proxy Port]** フィールドに、HTTPs プロキシサーバのポート番号を入力します。

10. (オプション)[Syslog Server] フィールドに、アラートを送信するために、Cisco Tetration で使用できる syslog サーバの名前または IP アドレスを入力します。
11. (オプション)[Syslog Port] フィールドに、syslog サーバのポート番号を入力します。
12. (オプション)[Syslog Severity] フィールドに、syslog メッセージの重大度レベルを入力します。可能な値には、情報、警告、エラー、緊急、アラート、重要な注意が含まれます。
13. [Next] をクリックします。

• [UI] フォーム

1. [UI VRRP VRID] フィールドに、一意の VRID が必要なければ、「77」を入力します。
2. [UI FQDN] フィールドに、クラスタにアクセスする完全修飾ドメイン名を入力します。
3. [UI Airbrake Key] フィールドは空白のままにします。
4. [Next] をクリックします。

Cisco Tetration は、構成時の設定を検証し、設定のステータスを表示します。



• [Advanced] フォーム

1. 外部 IP フィールドに、外部の IP アドレスを入力します。
2. [Continue] をクリックします。

ステップ 8 障害がある場合は、Back ボタンをクリックし、設定を編集してください(ステップ 7 を参照してください)。

(注) これらの設定は、このページから続行した後はセットアップ GUI で変更できません。ただし、後で GUI の [会社 (company)] ページから設定を変更できます。

ステップ 9 設定に対して障害が書き留められておらず、変更を加える必要はない場合、[続行] ボタンをクリックします。

Site File

```

---
site_cluster_type: PHYSICAL
site_leaf_1_ip: 192.168.1.1
site_name: pliny
site_leaf_1_gateway: 192.168.1.8
site_sntp_username: ''
site_sntp_password: ''
site_ul_airbrake_key: ''
site_leaf1_infra_ip: 192.168.1.6/31
site_apine_isopack_ip: 192.168.1.10/32
site_leaf_2_netmask: 255.255.255.254
site_sntp_server: 10.28.121.195
site_dns_resolvers: 10.28.121.193 10.28.121.194
site_swtp_port1: '25'
site_ul_admin_email: pliny-admin@cisco.com
site_interconnect_netmask: 255.255.255.254
site_leaf_2_ip: 192.168.1.3
site_leaf_1_external_ip: 10.28.121.130
site_dns_email: pliny-support@cisco.com
site_ul_8k_key: ''
site_cisc_internal_network_gateway: ''
site_internal_network: 3.1.8.0/17
site_leaf_2_interconnect_ip: 192.168.1.5
site_leaf2_infra_ip: 192.168.1.8/31
site_rootable_network_gw: 10.28.121.129
site_leaf_1_netmask: 255.255.255.254
site_cisc_internal_network: ''
site_ul_vip_vrid: '77'
site_dns_domain: cisco.com
site_rootable_network: 10.28.121.320/27
site_ntg_config_server: 10.28.121.193 10.28.121.194
site_leaf_1_interconnect_ip: 192.168.1.4
site_external_ips: ''
site_ul_fqdn: pliny.cisco.com
site_ssh_public_key: ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAADAQABAAQDAQDFtE0xfcs117/W6+XpAKK07q9e5n50Tz6o/r4HEJv2aK0KLf0qN0adhZ3FT00CrZf2Kqnsf203IEVhJ0MwM9U5rqui+C
pliny-support@cisco.com
site_leaf_2_external_ip: 10.28.121.131
site_leaf_2_gateway: 192.168.1.2
site_ul_primary_customer_support_email: pliny-support@cisco.com
site_sku: 398U-GEN1

```

Cisco Tetration 指定した設定に従って設定します。このプロセスは、ユーザ側のインタラクティブなしで 1~2 時間かかります。



付録 **A**

システムの仕様

- [環境仕様 \(27 ページ\)](#)
- [ハードウェアに同梱されているケーブル \(28 ページ\)](#)
- [C1-Tetration クラスタ デバイスの配線 \(29 ページ\)](#)
- [C1-Tetration-M クラスタのデバイスのケーブル配線 \(47 ページ\)](#)
- [MS 仮想インターフェイス カードのケーブル配線 \(55 ページ\)](#)

環境仕様

次の表に、Cisco Tetration クラスタをインストールするために必要な環境仕様を示します。

表 8: 環境仕様

環境		仕様
温度	動作時	-5 ~ 35 °C (-40 ~ 95 °F), 海拔 305 m (1000 フィート) ごとに最大 1° C 低減する
	ストレージ	-40 ~ 65 °C (-40 ~ 149 °F)
湿度	動作時	相対湿度 10 ~ 80 %, 1 時間当たり 10 % の湿度上昇
	ストレージ	相対湿度 5 ~ 93%
高度	動作時	0 ~ 10,000 フィート (0 ~ 3050 m)
	ストレージ	0 ~ 12,200 m (40,000 フィート)

ハードウェアに同梱されているケーブル

次の表に、クラスタハードウェアに同梱されているケーブルを示します。

表 9: Cisco Tetration 39 RU クラスタ、シングルラック構成

部品番号	説明	数量
TA: ラック UCS2-INT	Cisco R42612 ダイナミックラック、Cisco Tetration のサイドパネル	1
TA-ETH-RJ45-シングル	39 RU Cisco Tetration シングルラック構成用 RJ45 ケーブルキット	1
TA-SFP-H10GB-CU2M	10GBASE-CU SFP+ 2 メートル ケーブル	16
TA-SFP-H10GB-CU1-5	10GBASE-CU SFP+ 1.5 メートル ケーブル	32
TA-QSFP-H40G-CU1M	40GBASE-CR4 パッシブ銅ケーブル、1 メートル	4
TA-SFP-H10GB-CU1M	10GBASE-CU SFP+ 1 メートル ケーブル	25
TA-SFP-H10GB-CU2-5	10GBASE-CU SFP+ 2.5 メートル ケーブル	20

表 10: Cisco Tetration 39 RU クラスタ、デュアルラック構成

部品番号	説明	数量
TA-RACK-UCS2-INT	Cisco R42612 ダイナミックラック、Cisco Tetration のサイドパネル	2
TA-ETH-RJ45-DUAL	39 RU Cisco Tetration シングルラック構成用の RJ45 ケーブルキット	1
TA-SFP-H10GB-CU2M	10GBASE-CU SFP+ 2 メートル ケーブル	15
TA-SFP-H10GB-CU1-5	10GBASE-CU SFP+ 1.5 メートル ケーブル	19
TA-QSFP-H40G-CU1M	40GBASE-CR4 パッシブ銅ケーブル、1 メートル	1
TA-QSFP-H40G-CU5M	40GBASE-CR4 パッシブ銅線 5 メートルケーブル	3
TA-SFP-H10GB-CU2-5	10GBASE-CU SFP+ 2.5 メートルケーブル	12
TA-SFP-H10GB-CU5M	10GBASE-CU SFP+ 5 メートル ケーブル	47

表 11: Cisco Tetration 8 RU クラスタ

部品番号	説明	数量
TA-RACK-UCS2-INT	Cisco R42612 ダイナミックラック、Cisco Tetration のサイドパネル	1
ETH-S-RJ45	RJ-45 ストレート ケーブル、イーサネット用イエロー 6フィート ケーブル	6
TA-SFP-H10GB-CU1M	10GBASE-CU SFP+ 1 メートル ケーブル	13
TA-SFP-H10GB-CU1-5	10GBASE-CU SFP+ 1.5 メートル ケーブル	12
TA-QSFP-H40G-CU1M	40GBASE-CR4 パッシブ銅ケーブル、1 メートル	2
GLC-TE	カテゴリ 5 銅線用 1000BASE-T SFP トランシーバ モジュール	6

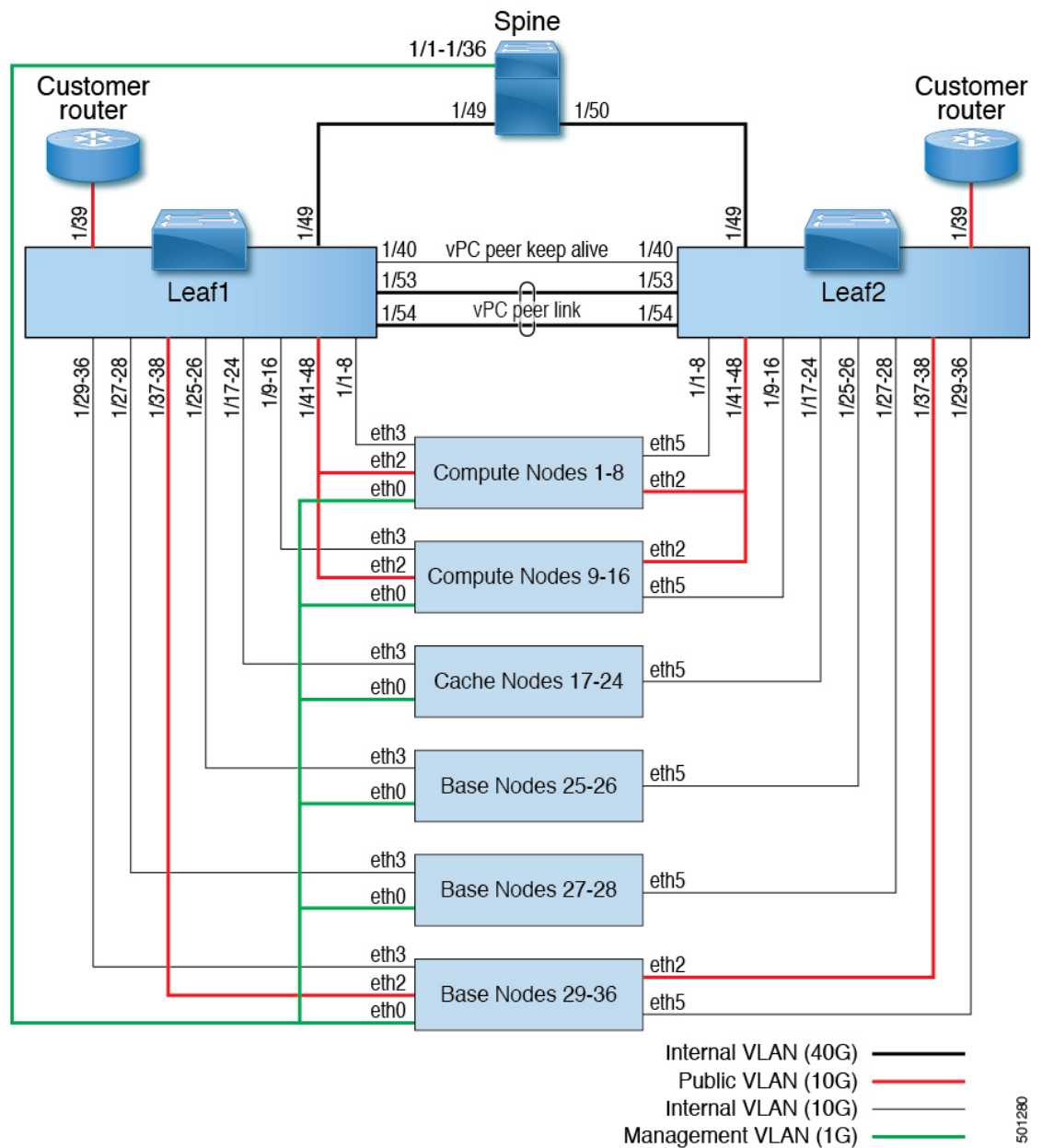
C1-Tetration クラスタ デバイスの配線

次の図は、C1 Tetration ラック デバイスが相互接続する方法を示します。接続の詳細なリストについては、その図の下の表を参照してください。



-
- (注) CIMC/PXE スイッチは、3つのスイッチのそれぞれに管理 (管理) ポートと 36 個のコンピューティング、キャッシュ、およびベースのサーバホストのそれぞれの eth0 ポートに接続されています。
-

図 6: C1 Tetration ラック デバイスの相互接続



501280

次の図は、サーバ上のどのポートが前の図の「eth」ポートに対応していることを示しています。

図 7: M5サーバポート



表 12: M5サーバポートのコールアウト

引き出し線	説明
1	eth3
2	eth2
3	eth4
4	eth5
5	eth0
6	eth1

表 13: スパインスイッチ接続 (RU 41のシングルラックインストールまたはデュアルラックインストールで RU 40)

スパインポート	Connection Type	Connection			
		デバイス	シングルラックのRU	デュアルラックのRU	Port
1/1	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 1 (コンピューティングサーバ 1)	RU 36	ラック 1 RU 17	eth0
1/2	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 2 (コンピューティングサーバ 2)	RU 35	ラック 1 RU 16	eth0

スパインポート	Connection Type	Connection			
		デバイス	シングルラックのRU	デュアルラックのRU	Port
1/3	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 3 (コンピューティングサーバ 3)	RU 34	ラック 1 RU 15	eth0
1/4	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 4 (コンピューティングサーバ 4)	RU 33	ラック 1 RU 14	eth0
1/5	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 5 (コンピューティングサーバ 5)	RU 32	ラック 1 RU 13	eth0
1/6	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 6 (コンピューティングサーバ 6)	RU 31	ラック 1 RU 12	eth0
1/7	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 7 (コンピューティングサーバ 7)	RU 30	ラック 1 RU 11	eth0
1/8	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 8 (コンピューティングサーバ 8)	RU 29	ラック 1 RU 10	eth0
1/9	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 9 (コンピューティングサーバ 9)	RU 28	ラック 1 RU 8	eth0
1/10	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 10 (コンピューティングサーバ 10)	RU 27	ラック 1 RU 7	eth0

スパインポート	Connection Type	Connection			Port
		デバイス	シングルラックのRU	デュアルラックのRU	
1/11	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 11 (コンピューティングサーバ 11)	RU 26	ラック 1 RU 6	eth0
1/12	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 12 (コンピューティングサーバ 12)	RU 25	ラック 1 RU 5	eth0
1/13	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 13 (コンピューティングサーバ 13)	RU 24	ラック 1 RU 4	eth0
1/14	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 14 (コンピューティングサーバ 14)	RU 23	ラック 1 RU 3	eth0
1/15	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 15 (コンピューティングサーバ 15)	RU 22	ラック 1 RU 2	eth0
1/16	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 16 (コンピューティングサーバ 16)	RU 21	ラック 1 RU 1	eth0
1/17	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 17 (キャッシュサーバ 1)	RU 20	ラック 2 RU 21	eth0
1/18	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 18 (キャッシュサーバ 2)	RU 19	ラック 2 RU 20	eth0

スパインポート	Connection Type	Connection			
		デバイス	シングルラックのRU	デュアルラックのRU	Port
1/19	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 19 (キャッシュサーバ 3)	RU 18	ラック 2 RU 19	eth0
1/20	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 20 (キャッシュサーバ 4)	RU 17	ラック 2 RU 18	eth0
1/21	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 21 (キャッシュサーバ 5)	RU 16	ラック 2 RU 17	eth0
1/22	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 22 (キャッシュサーバ 6)	RU 15	ラック 2 RU 16	eth0
1/23	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 23 (キャッシュサーバ 7)	RU 14	ラック 2 RU 15	eth0
1/24	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 24 (キャッシュサーバ 8)	RU 13	ラック 2 RU 14	eth0
1/25	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 25 (基本サーバ 1)	RU 12	ラック 2 RU 12	eth0
1/26	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 26 (基本サーバ 2)	RU 11	ラック 2 RU 11	eth0
1/27	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 27 (基本サーバ 3)	RU 10	ラック 2 RU 10	eth0

スパインポート	Connection Type	Connection			Port
		デバイス	シングルラックのRU	デュアルラックのRU	
1/28	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 28 (基本サーバ 4)	RU 9	ラック 2 RU 9	eth0
1/29	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 29 (基本サーバの 5 分)	RU 8	ラック 2 RU 8	eth0
1/30	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 30 (基本サーバ 6)	RU 7	ラック 2 RU 7	eth0
1/31	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 31 (基本サーバ 7)	RU 6	ラック 2 RU 6	eth0
1/32	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 32 (基本サーバ 8)	RU 5	ラック 2 RU 5	eth0
1/33	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 33 (基本サーバ 9)	RU 4	ラック 2 RU 14	eth0
1/34	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 34 (基本サーバ 10)	RU 3	ラック 1 RU 3	eth0
1/35	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 35 (基本サーバ 11)	RU 2	ラック 2 RU 2	eth0
1/36	CIMC/PXE VLAN (1 ギガビット)	UCS サーバホスト 36 (基本サーバ 12)	RU 1	ラック 2 RU 1	eth0
1/49	内部 VLAN (40 ギガビット)	リーフスイッチ 1 (1 つのラックの RU 41 またはデュアルラックのラック 1 の RU 40)	RU 40	ラック 1 RU 40	1/49

スパインポート	Connection Type	Connection			
		デバイス	シングルラックのRU	デュアルラックのRU	Port
1/50	内部 VLAN (40ギガビット)	リーフスイッチ 2 (1つのラックで RU 40) またはデュアルラックのラック 2 の RU 40) ポート 49	RU 41	ラック 2 RU 40	1/49

表 14: リーフスイッチ 1 接続 (RU 41) のシングルラックインストールまたはデュアルラックインストールで (RU 40)

リーフ 1 ポート	Connection Type	Connection			
		デバイス	シングルラックのRU	デュアルラックのRU	Port
1/1	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 1 (コンピューティングサーバ 1)	RU 36	ラック 1 RU 17	eth3
1/2	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 2 (コンピューティングサーバ 2)	RU 35	ラック 1 RU 16	eth3
1/3	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 3 (コンピューティングサーバ 3)	RU 34	ラック 1 RU 15	eth3
1/4	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 4 (コンピューティングサーバ 4)	RU 33	ラック 1 RU 14	eth3
1/5	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 5 (コンピューティングサーバ 5)	RU 32	ラック 1 RU 13	eth3
1/6	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 6 (コンピューティングサーバ 6)	RU 31	ラック 1 RU 12	eth3

リーフ 1 ポート	Connection Type	Connection			Port
		デバイス	シングル ラックの RU	デュアル ラックの RU	
1/7	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 7 (コンピューティング サーバ 7)	RU 30	ラック 1 RU 11	eth3
1/8	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 8 (コンピューティング サーバ 8)	RU 29	ラック 1 RU 10	eth3
1/9	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 9 (コンピューティング サーバ 9)	RU 28	ラック 1 RU 8	eth3
1/10	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 10 (コンピューティング サーバ 10)	RU 27	ラック 1 RU 7	eth3
1/11	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 11 (コンピューティング サーバ 11)	RU 26	ラック 1 RU 6	eth3
1/12	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 12 (コンピューティング サーバ 12)	RU 25	ラック 1 RU 5	eth3
1/13	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 13 (コンピューティング サーバ 13)	RU 24	ラック 1 RU 4	eth3
1/14	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 14 (コンピューティング サーバ 14)	RU 23	ラック 1 RU 3	eth3

リーフ1ポート	Connection Type	Connection			
		デバイス	シングルラックのRU	デュアルラックのRU	Port
1/15	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 15 (コンピューティングサーバ 15)	RU 22	ラック 1 RU 2	eth3
1/16	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 16 (コンピューティングサーバ 16)	RU 21	ラック 1 RU 1	eth3
1/17	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 17 (キャッシュサーバ 1)	RU 20	ラック 2 RU 21	eth3
1/18	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 18 (キャッシュサーバ 2)	RU 19	ラック 2 RU 20	eth3
1/19	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 19 (キャッシュサーバ 3)	RU 18	ラック 2 RU 19	eth3
1/20	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 20 (キャッシュサーバ 4)	RU 17	ラック 2 RU 18	eth3
1/21	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 21 (キャッシュサーバ 5)	RU 16	ラック 2 RU 17	eth3
1/22	内部 VLAN (10ギガビット)	UCS サーバホスト 22 (キャッシュサーバ 6)	RU 15	ラック 2 RU 16	eth3

リーフ 1 ポート	Connection Type	Connection			Port
		デバイス	シングル ラックの RU	デュアル ラックの RU	
1/23	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 23 (キャッシュサーバ 7)	RU 14	ラック 2 RU 15	eth3
1/24	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 24 (キャッシュサーバ 8)	RU 13	ラック 2 RU 14	eth3
1/25	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 25 (基本サーバ 1)	RU 12	ラック 2 RU 12	eth3
1/26	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 26 (基本サーバ 2)	RU 11	ラック 2 RU 11	eth3
1/27	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 27 (基本サーバ 3)	RU 10	ラック 2 RU 10	eth3
1/28	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 28 (基本サーバ 4)	RU 9	ラック 2 RU 9	eth3
1/29	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 29 (基本サーバの 5 分)	RU 8	ラック 2 RU 8	eth3
1/30	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 30 (基本サーバ 6)	RU 7	ラック 2 RU 7	eth3
1/31	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 31 (基本サーバ 7)	RU 6	ラック 2 RU 6	eth3
1/32	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 32 (基本サーバ 8)	RU 5	ラック 2 RU 5	eth3

リーフ1ポート	Connection Type	Connection			
		デバイス	シングルラックのRU	デュアルラックのRU	Port
1/33	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 33 (基本サーバ 9)	RU 4	ラック 2 RU 14	eth3
1/34	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 34 (基本サーバ 10)	RU 3	ラック 1 RU 3	eth3
1/35	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 35 (基本サーバ 11)	RU 2	ラック 2 RU 2	eth3
1/36	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 36 (基本サーバ 12)	RU 1	ラック 2 RU 1	eth3
1/37	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 34 (基本サーバ 10)	RU 3	ラック 1 RU 3	eth2
1/38	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 36 (基本サーバ 12)	RU 1	ラック 2 RU 1	eth2
1/39	内部 VLAN (10 ギガビット)	カスタマー ルータ 1	-	-	-
1/40	内部 VLAN (10 ギガビット)	リーフ スイッチ 1	RU 40	ラック 1 RU 40	40
1/41	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 2 (コンピューティングサーバ 2)	RU 35	ラック 1 RU 16	eth2
1/42	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 4 (コンピューティングサーバ 4)	RU 33	ラック 1 RU 14	eth2
1/43	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 6 (コンピューティングサーバ 6)	RU 31	ラック 1 RU 12	eth2

リーフ 1 ポート	Connection Type	Connection			
		デバイス	シングル ラックの RU	デュアル ラックの RU	Port
1/44	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 8 (コンピューティング サーバ 8)	RU 29	ラック 1 RU 10	eth2
1/45	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 10 (コンピューティング サーバ 10)	RU 27	ラック 1 RU 8	eth2
1/46	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 12 (コンピューティング サーバ 12)	RU 25	ラック 1 RU 6	eth2
1/47	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 14 (コンピューティング サーバ 14)	RU 23	ラック 1 RU 4	eth2
1/48	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 14 (コンピューティング サーバ 14)	RU 21	ラック 1 RU 2	eth2
1/49	内部 VLAN (40 ギガビット)	スパインスイッチ	RU 42	ラック 1 RU 42	1/49
1/50	-	-	-	-	-
1/51	-	-	-	-	-
1/52	-	-	-	-	-
1/53	内部 VLAN (40 ギガビット)	リーフ スイッチ 1	RU 40	ラック 1 RU 40	1/53
1/54	内部 VLAN (40 ギガビット)	リーフ スイッチ 1	RU 40	ラック 1 RU 40	1/54

表 15: リーフスイッチ 2 接続 (シングルおよびデュアル ラック インストールで RU 40)

リーフ 2 ポート	Connection Type	Connection			
		デバイス	シングル ラックの RU	デュアル ラックの RU	Port
1/1	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 1 (コンピューティング サーバ 1)	RU 36	ラック 1 RU 17	eth5
1/2	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 2 (コンピューティング サーバ 2)	RU 35	ラック 1 RU 16	eth5
1/3	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 3 (コンピューティング サーバ 3)	RU 34	ラック 1 RU 15	eth5
1/4	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 4 (コンピューティング サーバ 4)	RU 33	ラック 1 RU 14	eth5
1/5	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 5 (コンピューティング サーバ 5)	RU 32	ラック 1 RU 13	eth5
1/6	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 6 (コンピューティング サーバ 6)	RU 31	ラック 1 RU 12	eth5
1/7	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 7 (コンピューティング サーバ 7)	RU 30	ラック 1 RU 11	eth5
1/8	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 8 (コンピューティング サーバ 8)	RU 29	ラック 1 RU 10	eth5

リーフ 2 ポート	Connection Type	Connection			Port
		デバイス	シングル ラックの RU	デュアル ラックの RU	
1/9	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 9 (コンピューティング サーバ 9)	RU 28	ラック 1 RU 8	eth5
1/10	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 10 (コンピューティング サーバ 10)	RU 27	ラック 1 RU 7	eth5
1/11	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 11 (コンピューティング サーバ 11)	RU 26	ラック 1 RU 6	eth5
1/12	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 12 (コンピューティング サーバ 12)	RU 25	ラック 1 RU 5	eth5
1/13	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 13 (コンピューティング サーバ 13)	RU 24	ラック 1 RU 4	eth5
1/14	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 14 (コンピューティング サーバ 14)	RU 23	ラック 1 RU 3	eth5
1/15	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 15 (コンピューティング サーバ 15)	RU 22	ラック 1 RU 2	eth5
1/16	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 16 (コンピューティング サーバ 16)	RU 21	ラック 1 RU 1	eth5

リーフ 2 ポート	Connection Type	Connection			
		デバイス	シングルラックの RU	デュアルラックの RU	Port
1/17	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 17 (キャッシュサーバ 1)	RU 20	ラック 2 RU 21	eth5
1/18	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 18 (キャッシュサーバ 2)	RU 19	ラック 2 RU 20	eth5
1/19	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 19 (キャッシュサーバ 3)	RU 18	ラック 2 RU 19	eth5
1/20	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 20 (キャッシュサーバ 4)	RU 17	ラック 2 RU 18	eth5
1/21	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 21 (キャッシュサーバ 5)	RU 16	ラック 2 RU 17	eth5
1/22	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 22 (キャッシュサーバ 6)	RU 15	ラック 2 RU 16	eth5
1/23	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 23 (キャッシュサーバ 7)	RU 14	ラック 2 RU 15	eth5
1/24	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 24 (キャッシュサーバ 8)	RU 13	ラック 2 RU 14	eth5
1/25	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 25 (基本サーバ 1)	RU 12	ラック 2 RU 12	eth5

リーフ 2 ポート	Connection Type	Connection			Port
		デバイス	シングル ラックの RU	デュアル ラックの RU	
1/26	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 26 (基本サーバ 2)	RU 11	ラック 2 RU 11	eth5
1/27	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 27 (基本サーバ 3)	RU 10	ラック 2 RU 10	eth5
1/28	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 28 (基本サーバ 4)	RU 9	ラック 2 RU 9	eth5
1/29	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 29 (基本サーバの 5 分)	RU 8	ラック 2 RU 8	eth5
1/30	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 30 (基本サーバ 6)	RU 7	ラック 2 RU 7	eth5
1/31	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 31 (基本サーバ 7)	6	ラック 2 RU 6	eth5
1/32	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 32 (基本サーバ 8)	RU 5	ラック 2 RU 5	eth5
1/33	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 33 (基本サーバ 9)	RU 4	ラック 2 RU 14	eth5
1/34	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 34 (基本サーバ 10)	RU 3	ラック 1 RU 3	eth5
1/35	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 35 (基本サーバ 11)	RU 2	ラック 2 RU 2	eth5
1/36	内部 VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 36 (基本サーバ 12)	RU 1	ラック 2 RU 1	eth5

リーフ 2 ポート	Connection Type	Connection			
		デバイス	シングルラックの RU	デュアルラックの RU	Port
1/37	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 33 (基本サーバ 9)	RU 4	ラック 2 RU 8	eth4
1/38	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 35 (基本サーバ 11)	RU 2	ラック 2 RU 6	eth4
1/39	内部 VLAN (10 ギガビット)	カスタマー ルータ 1	-	-	-
1/40	内部 VLAN (10 ギガビット)	リーフ スイッチ 2	RU 41	ラック 2 RU 40	1/40
1/41	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 1 (コンピューティングサーバ 1)	RU 36	ラック 1 RU 17	eth4
1/42	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 3 (Compute server3)	RU 34	ラック 1 RU 15	eth4
1/43	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 5 (コンピューティングサーバ 5)	RU 32	ラック 1 RU 13	eth4
1/44	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 7 (コンピューティングサーバ 7)	RU 30	ラック 1 RU 11	eth4
1/45	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 9 (コンピューティングサーバ 9)	RU 28	ラック 1 RU 9	eth4
1/46	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 11 (コンピューティングサーバ 11)	RU 26	ラック 1 RU 7	eth4

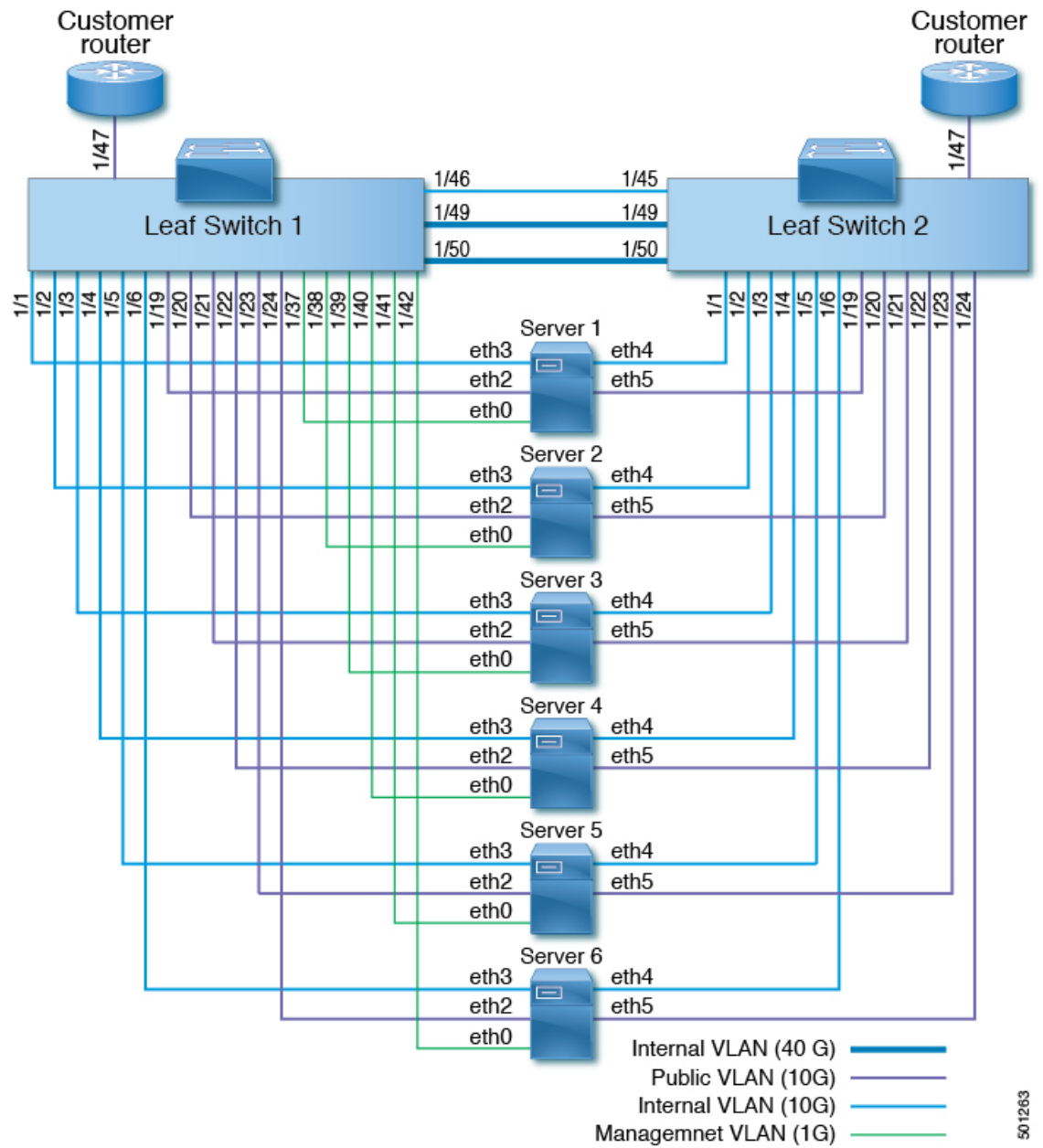
リーフ 2 ポート	Connection Type	Connection			
		デバイス	シングル ラックの RU	デュアル ラックの RU	Port
1/47	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 13 (コンピューティング サーバ 13)	RU 24	ラック 1 RU 5	eth4
1/48	パブリック VLAN (10 ギガビット)	UCS サーバホスト 15 (コンピューティング サーバ 15)	RU 22	ラック 1 RU 3	eth4
1/49	内部 VLAN (40 ギガビット)	スパイン スイッチ	RU 42	ラック 1 RU 42	1/50
1/50	–	–	–	–	–
1/51	–	–	–	–	–
1/52	–	–	–	–	–
1/53	内部 VLAN (40 ギガビット)	リーフ スイッチ	RU 40	ラック 1 RU 40	1/53
1/54	内部 VLAN (40 ギガビット)	リーフ 2 スイッチ	RU 41	ラック 2 RU 40	1/54

C1-Tetration-M クラスターのデバイスのケーブル配線

次の図は、C1-Tetration-M クラスター ラックのデバイスを相互接続する方法を示します。接続の詳細なリストについては、その図の下の表を参照してください。



(注) CIMC/PXE スイッチは、3つのスイッチのそれぞれに管理 (管理) ポートと 36 個のコンピューティング、キャッシュ、およびベースのサーバホストのそれぞれの eth0 ポートに接続されています。



501263

次の図は、サーバ上のどのポートが前の図の「eth」ポートに対応していることを示しています。

図 8:8 ラックユニット構成用 M5 サーバポート



表 16:8 ラックユニット構成用の M5 サーバポートのコールアウト

引き出し線	説明
1	eth4
2	eth3
3	eth1
4	eth2
5	eth0

表 17:リーフスイッチ 1 (RU 12) 接続

リーフポート	Connection Type	Connection		
		デバイス	シングルラックの RU	Port
1/1	内部 VLAN (10 ギガビット)	Server 1	9	eth2
1/2	内部 VLAN (10 ギガビット)	Server 2	8	eth2
1/3	内部 VLAN (10 ギガビット)	Server 3	6	eth2
1/4	内部 VLAN (10 ギガビット)	[Server 4]	5	eth2

リーフポート	Connection Type	Connection		
		デバイス	シングルラックの RU	Port
1/5	内部 VLAN (10 ギガビット)	サーバ 5	3	eth2
1/6	内部 VLAN (10 ギガビット)	サーバ 6	2	eth2
1/7	–	–	–	–
1/8	–	–	–	–
1/9	–	–	–	–
1/10	–	–	–	–
1/11	–	–	–	–
1/12	–	–	–	–
1/13	–	–	–	–
1/14	–	–	–	–
1/15	–	–	–	–
1/16	–	–	–	–
1/17	–	–	–	–
1/18	–	–	–	–
1/19	外部 VLAN (10 ギガビット)	Server 1	9	eth1
1/20	外部 VLAN (10 ギガビット)	Server 2	8	eth1
1/21	外部 VLAN (10 ギガビット)	Server 3	6	eth1
1/22	外部 VLAN (10 ギガビット)	[Server 4]	5	eth1
1/23	外部 VLAN (10 ギガビット)	サーバ 5	3	eth1
1/24	外部 VLAN (10 ギガビット)	サーバ 6	2	eth1

リーフポート	Connection Type	Connection		
		デバイス	シングルラックの RU	Port
1/25	-	-	-	-
1/26	-	-	-	-
1/27	-	-	-	-
1/28	-	-	-	-
1/29	-	-	-	-
1/30	-	-	-	-
1/31	-	-	-	-
1/32	-	-	-	-
1/33	-	-	-	-
1/34	-	-	-	-
1/35	-	-	-	-
1/36	-	-	-	-
1/37	管理 VLAN (1 ギガビット)	Server 1	9	eth0
1/38	管理 VLAN (1 ギガビット)	Server 2	8	eth0
1/39	管理 VLAN (1 ギガビット)	Server 3	6	eth0
1/40	管理 VLAN (1 ギガビット)	[Server 4]	5	eth0
1/41	管理 VLAN (1 ギガビット)	サーバ 5	3	eth0
1/42	管理 VLAN (1 ギガビット)	サーバ 6	2	eth0
1/43	-	-	-	-
1/44	-	-	-	-
1/45	-	-	-	-

リーフポート	Connection Type	Connection		
		デバイス	シングルラックの RU	Port
1/46	内部 VLAN (10 ギガビット)	リーフ 2 スイッチ	11	1/45
1/47	外部 VLAN (10 ギガビット)	顧客のルータ	–	–
1/48	–	–	–	–
1/49	内部 VLAN (40 ギガビット)	リーフ 2 スイッチ	11	1/49
1/50	内部 VLAN (40 ギガビット)	リーフ 2 スイッチ	11	1/50
1/51	–	–	–	–
1/52	–	–	–	–
1/53	–	–	–	–
1/54	–	–	–	–

表 18: リーフスイッチ 2 (RU 11) 接続

リーフポート	Connection Type	Connection		
		デバイス	シングルラックの RU	Port
1/1	内部 VLAN (10 ギガビット)	Server 1	9	eth4
1/2	内部 VLAN (10 ギガビット)	Server 2	8	eth4
1/3	内部 VLAN (10 ギガビット)	Server 3	6	eth4
1/4	内部 VLAN (10 ギガビット)	[Server 4]	5	eth4
1/5	内部 VLAN (10 ギガビット)	サーバ 5	3	eth4
1/6	内部 VLAN (10 ギガビット)	サーバ 6	2	eth4

リーフポート	Connection Type	Connection		
		デバイス	シングルラックのRU	Port
1/7	-	-	-	-
1/8	-	-	-	-
1/9	-	-	-	-
1/10	-	-	-	-
1/11	-	-	-	-
1/12	-	-	-	-
1/13	-	-	-	-
1/14	-	-	-	-
1/15	-	-	-	-
1/16	-	-	-	-
1/17	-	-	-	-
1/18	-	-	-	-
1/19	外部 VLAN (10 ギガビット)	Server 1	9	eth3
1/20	外部 VLAN (10 ギガビット)	Server 2	8	eth3
1/21	外部 VLAN (10 ギガビット)	Server 3	6	eth3
1/22	外部 VLAN (10 ギガビット)	[Server 4]	5	eth3
1/23	外部 VLAN (10 ギガビット)	サーバ 5	3	eth3
1/24	外部 VLAN (10 ギガビット)	サーバ 6	2	eth3
1/25	-	-	-	-
1/26	-	-	-	-
1/27	-	-	-	-
1/28	-	-	-	-

リーフポート	Connection Type	Connection		
		デバイス	シングルラックの RU	Port
1/29	–	–	–	–
1/30	–	–	–	–
1/31	–	–	–	–
1/32	–	–	–	–
1/33	–	–	–	–
1/34	–	–	–	–
1/35	–	–	–	–
1/36	–	–	–	–
1/37	管理 VLAN (1 ギガビット)	Server 1	9	–
1/38	管理 VLAN (1 ギガビット)	Server 2	8	–
1/39	管理 VLAN (1 ギガビット)	Server 3	6	–
1/40	管理 VLAN (1 ギガビット)	[Server 4]	5	–
1/41	管理 VLAN (1 ギガビット)	サーバ 5	3	–
1/42	管理 VLAN (1 ギガビット)	サーバ 6	2	–
1/43	–	–	–	–
1/44	–	–	–	–
1/45	内部 VLAN (10 ギガビット)	リーフ 1 スイッチ	12	1/46
1/46	–	–	–	–
1/47	外部 VLAN (10 ギガビット)	顧客のルータ	–	–
1/48	–	–	–	–

リーフポート	Connection Type	Connection		
		デバイス	シングルラックの RU	Port
1/49	内部 VLAN (40 ギガビット)	リーフ 1 スイッチ	12	1/49
1/50	内部 VLAN (40 ギガビット)	リーフ 1 スイッチ	12	1/50
1/51	–	–	–	–
1/52	–	–	–	–
1/53	–	–	–	–
1/54	–	–	–	–

MS 仮想インターフェイスカードのケーブル配線

M5 仮想インターフェイスカード (VIC) を配線する場合、基本的なケーブル配線は M4 VIC と同じです。さらに、次の情報が適用されます。

- すべてのノードに2つのプライベートインターフェイスがあります。
- 39-RU アプライアンスには、20 個のノード用のパブリックインターフェイスが1つあります。
- 8 RU には、6つのノードすべてに対して2つのパブリックインターフェイスがあります。
- M5 ハードウェアには、VIC ごとに4つのポートがあります。
- ベアメタルインターフェイスの名前は、「enp」ではなく「no」で始まります。

次の図は M5 VIC インターフェイスを示します。

図 9: M5 VIC インターフェイス



表 19: M5 VIC インターフェイスの引出線

引き出し線	説明
1	Leaf2 private eno6
2	Leaf2 public eno5
3	Leaf1 public eno7
4	Leaf1 private eno8
5	CIMC eno8
6	MGMT 2.2.2.2 eno2